

浜松いのちの電話

ひとりで悩まないで、話してみない？

相談電話 053-473-6222

年中無休。匿名でお話しができます。
相談内容のプライバシーは守られます。

自殺予防 いのちの電話 フリーダイヤル
0120-783-556 (ナヤミ・ココロ)

「毎月のフリーダイヤル」
毎月10日 8:00～翌日8:00

「毎日のフリーダイヤル」
毎日 16:00～21:00

レダイヤル 0570-783-556 (ナヤミ・ココロ)

毎日10:00～22:00 (通話料がかかります)
通話可能なセンターに順次おつながします。

LINHA DA VIDA HAMAMATSU

ポルトガル語相談 0120-428-333
// (WhatsApp) 080-3068-0333
毎週金曜日 19:30～21:30

インターネット相談を実施中です。



日本いのちの電話連盟の【ホームページ】
からログイン登録をしてください。
相談内容のプライバシーは守られます。

夏休み 中高生専用フリーダイヤルを開設します

0120-783-107 (静岡県内)

開設期間 8月23日(土)～9月3日(水)
13:00～22:00

2024年度 事業報告



社会福祉法人

浜松いのちの電話

目次

巻頭「人生の苦難を乗り越えるために」 理事長 福永 博文	1
2024年電話相談統計報告	3
2024年度事業報告	5
2024年度会計報告	7
2025年度事業計画	9
2024年度ご協力者	11
2025年度役員	14

人生の苦難を乗り越えるために

ー ポーランドの歴史に学ぶ幼児・児童期の支援 ー

浜松いのちの電話

理事長 福永 博文

人生には、それぞれのライフサイクルにおいて予期しない苦難に遭遇することがあります。

戦後 80 年を経た現在においても、親の離婚・別居などによる子どもの養育の困難性から施設などへの外部委託化、居場所の喪失、自ら死に追い込まれる小中高生などが増加する傾向にあります。

1939 年 9 月 1 日、ポーランドはナチス・ドイツによって電撃的侵攻を受け、国民は Holocaust 政策などによる過酷な生活、強制収容所、絶滅収容所、そして Ghetto における長期に亘る苦難の日々から逃れることは出来なかったようです。

当時、市井の人々によって困り、助け出された人たちが、後世に残した著作などを通して、生き延びた状況を想像して理解することができます。

①アウシュビッツ・ビルケナウ強制収容所の生存者の一人は、「いつガス室へ送られるかわからない生活に生きる支えと勇気を与えてくれたのは『音楽』であった。また『絵画』や『読書』『生きることを信じる』こと、そして『きょうだい』の存在であった」と述べています。

また、ある人は「いつガス室へ送られるかわからない日々の死への恐怖に立ち向かうための勇気を与えてくれたのは『音楽』であった」と述べています。

②ポーランドでは、第二次世界大戦争により、親や兄弟姉妹、親族、友人などを失った子どもたちの多くは「孤児院」（現・児童養護施設）に入所しました。

その施設では、施設長や教職員などによる愛情と人権や権利を尊重する「実践」が展開され、特に

子どもたちの意見を尊重した施設運営が行われました。そして施設内に限らず、広く地域社会との連携のもとに「開かれた施設」として運営されたのです。

ポーランドの施設で取り入れられていた特に注目のべき「実践」は「文化芸術活動」です。なかでも「美術館」「コンサート」「映画館」「博物館」などへ行く機会が年に数回あったようです。また、施設内では歌のレッスンや絵画のレッスンなどが毎週行われていました。さらに教職員による本や詩の読み聞かせなども行われていました。

③第二次世界大戦中、チェコのプラハ郊外のテレジン強制収容所では、子どもたちが絵を描き残しています。絵を展示している博物館の Andela Bart-osova は「Ghetto のなかの暗い現実の生活だけでなく、子どもに夢、願い、希望を、想像力豊かに描いています。その生きる意志と創作力は、無気力や諦めとは正反対のものです。（以下、略）」と述べています。

後年、発行された画集「テレジン収容所の小さな画家たち詩人たち」ほかによると、子どもたちの絵には、遊園地での遊び、クリスマス、人形劇、サーカス、美しい花咲く野を自由に飛ぶ蝶、家の前に続く一本の道などが描かれています。家へ帰りたい気持ちの現われでしょうか。

このような戦時下において、子どもたちが苦難を乗り越えたと思われる状況を 2, 3 指摘したいと思います。①心を支えてくれた「人（愛着関係の形成）」の存在、②心が落ち着ける「場（屋内外）」の存在、「意見表明権」の保障と「承認」の実感、生きることを信じる「信念」、そして「文化芸術活動」の程度などでした。

我が国において、苦難を乗り越えようと努力している子どもたちにも同じことが言えると思うのです。

2024年 電話相談統計報告

2024年の相談件数は10,359件と昨年(10507件)に続き1万台を確保しましたが、△1.4%の減少となってしまいました。

また、コロナ禍以前との比較では、件数で依然86%の水準に止まり、相談員の復帰状況も充分なものとは言えません。

2025年度につきましても、ひきつづき相談体制の回復・強化に努めるとともに、日本いのちの電話連盟との共催事業である毎日フリーダイヤルに継続参加し、より広域の相談者への対応ができるように尽力して参ります。

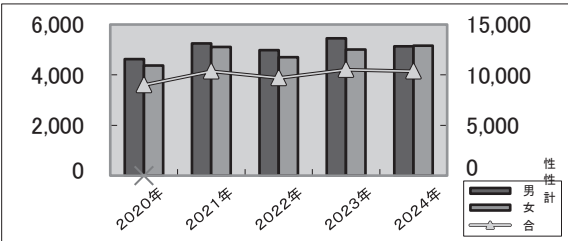
1. 受信体制

- (1) 相談員在籍数 152名 (2) 相談員実働数 122名
(3) 相談電話番号 2台 フリーダイヤル専用 1台
(4) 受信時間
日～火曜・祝日 10:00～22:00 水～土 10:00～24:00
毎月第2・4土曜日 10:00～翌朝10:00 24時間
☆ナビダイヤル 全国の(回線が空いている)「いのちの電話」につながる
☆行政からの受託事業等
「フリーダイヤルいのちの電話」の受信に下記時間帯で参加
・「毎月のフリーダイヤル」 毎月10日 10:00～24:00
・「毎日のフリーダイヤル」 平日 16:00～19:00
静岡県「こころの電話」の夜間、休日転送分の受信(県委託事業・毎日)

2. 受信件数5年間の推移

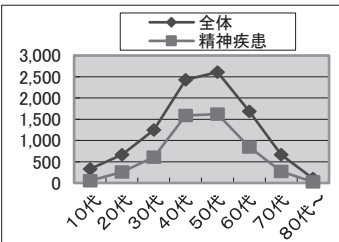
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
男 性	4,621	5,243	4,985	5,446	5,132
女 性	4,369	5,113	4,708	5,013	5,163
その他	—	—	—	48	64
合 計	8,990	10,356	9,693	10,507	10,359

★2023年から「その他」(LGBT等)を項目に追加しました。



3. 年代別受信件数 & 精神疾患

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	不明	合計
全体	329	663	1,249	2,431	2,610	1,688	668	103	618	10,359
精神疾患	56	262	611	1,589	1,621	846	273	24	191	5,473
%	17	40	49	65	62	50	41	23	31	53



男女とも働き盛りの年代からの相談が多い。通院しながら勤務している人、失職中の人、また休職中で復職か退職かで悩んでいる人が多い。自ら「うつ病」「統合失調症」などの病名を申告し、話し始めるリピーターも多い。

4. 主な相談内容

順位	男 性	女 性	その他
1	人 生 1,040	精 神 1,305	人 生 13
2	精 神 990	人 生 968	男 女 11
3	性関係 607	家 族 767	身 体 7
4	身 体 373	対 人 644	職 業 5
5	家 族 337	身 体 417	家 族 5
6	その他 1,785	その他 1,062	その他 23
合計	5,132	5,163	64

★精神・人生など多岐にわたり、一つの内容に収まらず話し続ける。

5. 自殺傾向の相談

危険な言葉を何度も繰り返し、受け手の反応を試するような話し方をする。男女とも働き盛りの年代が多く、一人暮らしは女性より男性の方が多い。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男 性	18	19	60	206	159	66	24	19	571
女 性	8	51	96	114	146	124	70	18	627
その他	1	1	2	0	2	0	0	0	6
合 計	27	71	158	320	307	190	94	37	1,204

6. インターネット相談

【厚生労働省自殺防止対策補助事業】として全国展開中

★昨年の受信件数 全国16センターで受信 1,059件(連盟資料による)
コロナ禍を経ても相談内容が大きく変化することはない、依然として人生・家族・職場・学校・保健医療の占める割合は多い。

近年、相談先の選択肢が増えたことで、受信件数の減少が続いているが、より早く対応できる相談窓口が増えたことが、自殺傾向率の低下に表れているように見受けられる。

受信件数		年代別		相談内容	
男 性	433	10代	113	人 生	282
女 性	590	20代	216	職 業	55
その他	36	30代	200	経 済	51
計	1,059	40代	228	家 族	145
		50代	253	夫 婦	32
		60代	41	職場・学校	185
		70代～	8	男 女	56
		不明	0	保健医療	229
		計	1,059	情 報	17
				そ の 他	7
				計	1,059

自殺傾向の推移(過去5年)					
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
念 慮	635	468	385	332	337
危 険	99	67	55	22	47
予告・通行	10	6	6	6	3
実 行	2	0	0	2	1
計	746	541	446	362	388
(未 遂 歴)	63	25	13	15	8

※自殺傾向率 55% 48% 44% 39% 37%

2024年度事業報告

開局38年目にあたる2024年度も多くの皆様の善意とご協力により、浜松いのちの電話の活動が支えられたことに改めて深く感謝いたします。

2024年度の浜松いのちの電話の活動はコロナ禍の影響からは回復し、相談件数で10,359件と昨年に続き1万件を確保することができました。

しかし、相談員の電話当番への稼働率はまだ不十分で、相談件数は前年比△1.4%、コロナ禍前の86%の水準に止まったままの状況にあります。

相談員の募集と養成に注力し、相談体制の再整備を行い、コロナ禍以前の相談件数12,000件への復帰を中期的な目標として、各事業に取り組んで参りたいと思っております。

1. 相談員の認定

- ・2024年10月に第38期生4名を電話相談員に認定

2. 相談員の養成

- ・第40期生応募8名が基礎研修受講中
- ・第39期生8名のインターン研修を実施中

3. 相談員の研修

- ・継続研修、自己啓発研修の実施
- ・相談員全体研修会(PCAGIP研修)の実施
- ・宿泊研修(1泊2日)の実施(森の家、6名)
- ・東海ブロック三重研修会に2名参加

4. 研修スタッフ研修

- ・インターン研修に7名参加、3グループに分けて傾聴指導の演習を実施
- ・隔月の課題実習、3か月毎のワンデー研修を実施

5. 相談活動の充実・環境整備

- ・若者からの相談受信体制の整備
夏季中高生フリーダイヤルを開設(8/24～9/5)
県西部の公立中高生86校へ電話カード44千枚を配付
- ・インターネット相談19名体制で実施、年4回の研修(パーソナリティ障害、新ガイドライン等)の実施

6. 外国語(ポルトガル語)電話相談

- ・毎週金曜日 19:30～21:30
- ・実働相談員3名で担当、受信件数39件
フリーダイヤル受信を実施しているが、依然少ない受信件数が続いている。各種イベントや施設への広報、行政機関へチラシ配付や広告掲載等を継続している。

7. 広報活動

- ・外部報の発行(年2回)
(7月号)コラム「出会うということの妙味」他
福家公子氏 他
(12月号)「ことばから生まれるもの」他
宮澤和代氏 他

- ・ホームページの充実

8. 事業活動

- ・納涼チャリティ寄席を開催(7月6日)
滝川鯉昇師匠、入船亭扇遊師匠
- ・チャリティ映画会 8Weeks
10月4日～11月28日 於 シネマイーラ

9. 地域とのつながり

- ・学校研修への協力
浜松市医師会看護高等専修学校、人間関係基礎論等4回
 - ・浜松市精神保健福祉センターのラジオ番組
「いのちをつなぐ手紙」への参加(毎月)
 - ・浜松市自殺対策啓発イベントへの協力(3月)
 - ・行政活動・NPO法人活動への参加
県自殺対策連絡協議会、浜松市自殺対策連携会議、
県犯罪被害者支援会議等へ参加
 - ・市民公開講演会は企画したが、未実施
10. フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」に参加
「毎月のフリーダイヤル」と「毎日のフリーダイヤル」の双方に参加
11. 「赤い羽根課題解決プロジェクト募金」に参加
12. 「イオン黄色いレシートキャンペーン」に参加



赤い羽根静岡県共同募金会様より
貴重な助成金をいただきました。
厚く御礼を申し上げます。
団体運営がより一層充実するよう
に大切に活用させていただきます。

2024年度会計報告

事業活動収支計算書

(自)2024年4月1日 (至)2025年3月31日 (単位:円)

勘定科目			当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部	収益	会費収益	1,944,500	1,716,641	227,859
		電話相談事業収益	9,106,411	7,854,669	1,251,742
		経常経費寄付金収益	1,501,205	2,481,904	△ 980,699
		その他の収益	25,717	25,643	74
		サービス活動収益計	12,577,833	12,078,857	498,976
	費用	人件費	2,541,300	2,382,300	159,000
		事業費	4,576,481	4,990,873	△ 414,392
		事務費	4,434,341	4,467,706	△ 33,365
		減価償却費	694,960	706,196	△ 11,236
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 284,941	△ 284,941	0
		サービス活動費用計	11,962,141	12,262,134	△ 299,993
	サービス活動増減差額		615,692	△ 183,277	798,969
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金	7,736	404	7,332
		サービス活動外収益計	7,736	404	7,332
	費用	支払利息	0	0	0
		サービス活動外費用計	0	0	0
	サービス活動外増減差額		7,736	404	7,332
経常増減差額			623,428	△ 182,873	806,301
特別増減の部	収益	設備整備等補助金収益	0	0	0
		特別収益計	0	0	0
	費用	固定資産処分損	0	1	△ 1
		国庫補助金等積立金積立額	0	0	0
		特別費用計	0	1	△ 1
	当期活動増減差額			623,428	△ 182,874
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額		14,796,079	14,978,953	△ 182,874
	当期末繰越活動増減差額		15,419,507	14,796,079	623,428
	次期繰越活動増減差額		15,419,507	14,796,079	623,428

貸借対照表 2025年3月31日(単位:円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	当年度末	前年度末	科 目	当年度末	前年度末
【流動資産】	13,705,995	12,672,548	【流動負債】	0	0
現金預金	13,524,339	12,492,030	借入金	0	0
貯蔵品	181,656	180,518	事業未払金	0	0
			仮受金	0	0
			預り金	0	0
【固定資産】	23,744,893	24,439,853	【固定負債】	0	0
【基本財産】	21,700,000	21,700,000	負債の部合計	0	0
定期預金	21,700,000	21,700,000	純資産の部		
【その他固定資産】	2,044,893	2,739,853	【基本金】	21,700,000	21,700,000
建物付属設備	1,159,092	1,338,296	【その他の積立金】	331,381	616,322
器具及び備品	575,801	1,091,557	基金積立金	0	0
権利(電話加入権)	10,000	10,000	国庫補助金等特別積立金	331,381	616,322
基金積立資産(定期預金)	0	0	【次期繰越活動増減差額】	15,419,507	14,796,079
差入保証金(敷金)	300,000	300,000	(うち当期活動増減差額)	(+623,428)	(△182,874)
			純資産の部合計	37,450,888	37,112,401
資産の部合計	37,450,888	37,112,401	負債及び純資産の部合計	37,450,888	37,112,401

(注)減価償却累計額 5,285,016円

財産目録 2025年3月31日(単位:円)

		内 訳	金額	金額
資産の部	流動資産	現金預金	13,524,339	
		貯蔵品(切手)	181,656	
		流動資産合計		13,705,995
	固定資産	基本財産(定期預金)	21,700,000	
		基本財産合計		21,700,000
		建物付属設備	1,159,092	
	その他の固定資産	器具及び備品	575,801	
		電話加入権	10,000	
		差入敷金	300,000	
		その他の固定資産合計		2,044,893
	資産合計			37,450,888
負債の部	流動負債		0	
	固定負債		0	
	負債合計			0
差引純資産				37,450,888

上記の会計監査の結果適正であることを認めます。

2025年5月14日 監事 鈴木 勲・久留島 勝則

2025年度事業計画

来年2026年は、浜松いのちの電話の開設40周年の年になります。2025年度は、40周年の準備の年として充実した1年となるよう真摯に取り組んで参ります。とくに課題であるコロナ禍以前の受信体制への回復については、改めて相談員の募集と養成等の各事業を着実に実施し、早期に実現できるよう注力してまいります。

2024年は、全国で20,268名(男13,763名、女6,505名)、静岡県で587名(全国10位)の自殺者が発生しました。また、小学生～高校生の若者の自殺も全国で527名(前年比14名)と様々な取り組みにもかかわらず、増加が続いています。

浜松いのちの電話は、2025年度においても、一段と緊張感をもって、多くの相談者の心に沿った、適切で誠実な電話相談に取り組んでまいります。

1. 第41期生養成講座

- ・目標20名 受講生募集受付開始2025年11月
- ・開講2026年4月 研修期間1年半

2. 相談員の養成

- ・第40期生8名 基礎研修・インターン研修
- ・第39期生7名 インターン研修

3. 相談員の研修

- ・継続研修の実施
- ・相談員全体研修会
危機介入研修、青少年の理解と対応他
- ・インターネット相談員研修
スーパーバイズ研修、事例研究、定例会開催他

4. 研修スタッフインターン研修

- ・対象者3名、期間3年の養成研修を実施中
7月に研修スタッフとして認定予定

5. 外国語(ポルトガル語)電話相談

- ・相談員3名、フリーダイヤルで対応中
- ・相談員2名養成中
- ・浜松市における外国語相談活動を広く知ってもらうため広報活動に注力
外国人市民への広報、情報誌への広告等実施

6. 相談活動の充実と相談員のサポート

- ・若者の自殺防止への対応
インターネット相談の充実
夏季中高生フリーダイヤルの開設、学生カードの配布
- ・受信活動に専念できる環境づくり

7. 財政の安定化

- ・資金ボランティアの開拓
- ・関係機関からの補助金、助成金の申請と確保
- ・「赤い羽根課題解決プロジェクト募金」に参加

8. 広報活動の推進

- ・ホームページの充実
- ・市民公開講座の再開
- ・報道機関等への積極的な情報提供
- ・外部報(年2回)、内部報(年4回)の発行

9. フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」

- ・「毎月のフリーダイヤル」(毎月10日)に10時～24時の時間帯で参加
- ・「毎日のフリーダイヤル」に平日16時～19時の時間帯で参加

10. 地域とのつながり

- ・地域の「傾聴ボランティア養成研修」に講師派遣
- ・「納涼チャリティ寄席」の開催
7月5日(土) 浜松市福祉交流センター
- ・「チャリティ映画会」の開催
10月3日～11月27日(予定)シネマイーラ

11. 関係機関・団体との連携・協力

- ・日本いのちの電話連盟
- ・静岡県
- ・浜松市
- ・浜松市精神保健福祉センター
- ・浜松市国際交流協会
- ・浜松市社会福祉協議会
- ・静岡県共同募金会
- ・日本財団
- ・静岡県電話相談機関連絡協議会
- ・県犯罪被害者支援連絡協議会 他

【県内西部の中高生に電話カードを配布しています】

浜松いのちの電話 夏休み 中高生フリーダイヤル

☎ 0120-783-107

2025年8月23日(土)
から9月3日(水)
13:00～22:00

名のる必要はなく、秘密は守ります
ひとりで悩まないで、話してみない?



浜松いのちの電話では、毎年「夏休み」に県内西部の中高生を対象に電話カードを配布して、フリーダイヤル電話相談を行っています。この電話カードの作成費用に「赤い羽根課題解決プロジェクト募金」にご寄付いただいた支援金を活用させていただいています。

あたたかいご支援・ご協力ありがとうございました
2024 年度 (2024.4 ～ 2025.3) 敬称略

★会費・寄付【個人】

浅井 昭裕	天野 光江	天野 善章	天城 芳子	新井 友子
池田 佳世	池元 朋子	石川縫三郎	石黒 真	伊藤 頼子
今村 順子	大久保俊夫	大河内恵美子	大澤ゆかり	太田 薫
大場 義貴	大森 文代	大森 幸恵	岡崎 一雄	岡本 肇
小栗 恭子	落合 悦子	笠原 桂子	梶 富美子	梶浦由喜子
片瀬 文範	片瀬 靖子	片橋 清枝	片山 明子	加藤 敏行
神谷 礼子	川合喜實子	河合 利行	河合ゆかり	川俣真理子
河村 安代	河村 良枝	菊地 和博	鬼頭 秀行	桐谷 啓子
工藤 通子	栗田 愛子	栗山 節夫	黒牧 武夫	小林 眞
小林 光世	子安 崇雄	西條 晃代	酒井二三子	佐藤 和彦
佐藤きみ子	佐藤 三郎	佐野 康代	鮫島 道和	柴田 睦子
白井 善夫	末松 渉	杉田 朋子	杉本 節子	杉山 陽一
鈴木 新	鈴木 啓一	鈴木 辰幸	鈴木登紀子	曾布川能康
田内 浩之	高木 万枝	高田 清子	高橋 廣子	竹中あゆり
高林 勇弐	高平 啓子	高山きよ子	竹内 祐子	竹下美智子
田中やす子	堤 ふみ子	津幡 佳伸	寺田佐千代	遠山千代子
戸田 淳子	辻岡 陽子	永井 範子	長沢 敦子	中根 忠志
中根みづほ	中村 修三	中村 道子	中村 弘江	中村美保子
中村由紀子	名倉 恒夫	成田喜代司	西田 文代	忍頂寺千恵子
野島 敦子	野島三重子	野村 容子	野藤 弘幸	袴田 純
袴田 修司	萩田 妙子	初瀬 正幸	浜村加奈子	林 角次
林 豊子	服部 勝子	原田 正司	原田 茂里	原田 貴之
平井 章	平澤 明美	平出 茂樹	福永 博文	福家 公子

※掲載いたしました個人名につきましては、個人情報保護法
にもとづき責任をもって管理いたします。
掲載を希望されない方は、ご面倒ですが事務局までご連絡
くださいますようお願いいたします。

★会費・寄付【個人】 前頁から続く

藤崎 保子	藤本 正勝	フジモリコウジ	古川 道子	古橋 克己
古橋ふさ子	堀江ひろみ	本城かほる	本間恵美子	前川 幹恵
前田由里子	増田 辰男	松井起己子	松井 常光	松尾 哲道
松下 雅由	松竹八重子	松永 正之	松本なおい	丸山 信子
三浦佐津子	溝口賢一郎	峰野 好正	宮谷 恵	宮澤 和代
三輪香奈江	三輪 公子	村田美津子	村松 真弓	柳原 とも
矢野 善章	山内由美子	山中 均	山本 健司	山本 周子
山本 敏博	吉田 恵子	吉田 実生	渡部 修	薬科 征子
薬科 正弘	割鞘健太郎			

匿名 7 名様

浜松いのちの電話をご支援ください

いのちの電話の活動は、多くの無償ボランティアによって継続
しています。皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。

【振込先】

郵便振替 00800-2-53944

加入者名 社会福祉法人 浜松いのちの電話

郵便振替手数料は無料（当法人負担）です。

浜松いのちの電話は税額控除の指定を受けている社会福祉
法人です。ご寄付は税法上の優遇措置がございます。

あたたかいご支援・ご協力ありがとうございました
2024 年度 (2024.4 ～ 2025.3) 敬称略

★会費・寄付【法人・団体】

(有)あかまつプラザ 36 遠州栄光教会住吉婦人部
遠州栄光教会ディアコニア部 大庭歯科医院
県西部しんきん地域振興財団 生命保険協会静岡県協会
聖隷福祉事業団 聖隷こども園こうのとり東保育園
小さな親切運動静岡県本部 天星製油株式会社
なるみやハートクリニック 日本基督教団浜松元城教会
日本基督教団浜松元城教会こどもの礼拝
日本基督教団掛川教会 公益社団法人浜松青年会議所
浜松ロータリークラブ 浜松北ロータリークラブ
藤井マタニティクリニック

★赤い羽根「課題解決プロジェクト基金」に
ご協力ありがとうございました。

【個人】

犬塚 洋子 大久保靖枝 大澤ゆかり 川合 高史 川島 正久
河村 敏明 黒柳 朋子 坂西 和恵 坂根 英夫 佐藤 和彦
佐藤 三郎 鮫島 道和 堤 ふみ子 永川 淳 名倉 康雄
袴田 修司 原田 貴之 堀江 宏實 前川 幹恵 安川 隆子
牧野 哲郎 山本 直司

【団体】

くまがいクリニック
小助川ファミリークリニック
静岡県健康福祉部障害者支援局
静岡県健康福祉部政策管理局総務課
静岡県健康福祉部健康局
林医院
よつばメンタルクリニック

※ 名簿につきましては、万一誤りや記入漏れがございましたらお詫び申し上げます。その場合はご面倒ですが、事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

★ご協力者

(有)あかまつプラザ 36 アド・アール株式会社
遠州栄光教会住吉 オーム電機(株) 大和田真澄 岡上伸雄
古山清子 シネマイーラ 聖隷福祉事業団 鶴見誠二
浜松エフエム放送(株) 浜松市医師会看護高等専修学校
光タクシー(株) ブラジルふれあい会
マックスバリュ浜松住吉店 (黄色いレシートキャンペーン)
森島園製茶

2025年度理事・監事および評議員名簿
(2025.7.1 現在)

理事長	福永 博文	
理 事	佐藤 和彦	評議員 磯部 幸恵
	鈴木 清	金谷 一作
	津幡 佳伸	河合 利行
	袴田 修司	高 承和
	鮫島 道和 (事務局長)	小杉 浩造
監 事	鈴木 勲	宮澤 和代
	久留島 勝則	宮谷 恵



社会福祉法人
浜松いのちの電話

〒430-8691 浜松郵便局私書箱 125 号
発行人 福永 博文
編集事務局 TEL (053) 471-9715
FAX (053) 543-9020